

【科目名】3. みどりと健康		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5	
【主任教員】 豊田 正博 (10)		
【分担教員】 佐藤 薫 (1), 平田 富士男 (1), 美濃 伸之 (1), 寺田 裕美子 (2)		
【授業のねらい】 園芸療法実践の基礎となる植物や園芸の使い方, 園芸と健康の関係についての基礎知識と理論を学ぶ。 講義の前半(豊田: 1~5回)は, 医療・福祉等の分野で園芸療法を行う上で必要な基礎的事項を中心に学び, 後半(1月以降)は, 地域における園芸療法の活用について学ぶ。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
4/13 (土) 1-2限	豊田 【予習課題あり】	●園芸療法定義 ●園芸療法5つの癒し ●園芸療法の対象と適用 ●園芸療法とマインドフルネス
5/11 (土) 1-2限	豊田 【予習課題あり】	●園芸作業の分析 ●身体活動量に注目した園芸プログラム作成
7/6 (土) 1-2限	豊田 【予習課題あり】	●園芸療法で注目すべき園芸植物の特性 ●身近な植物の毒性
8/3 (土) 1-2限	豊田 【予習課題あり】	●園芸療法関連のエビデンス①最近の研究 ●園芸療法関連のエビデンス②実践の基礎となる研究
9/14 (土) 1-2限	豊田 【予習課題あり】	●園芸療法におけるリスク管理 ●園芸療法の歴史, 海外の園芸療法
1/25 (土) 1限	佐藤	まちづくりガーデナーの活動と園芸療法の連携
1/25 (土) 2限	平田	コミュニティガーデンと園芸療法の活用
2/1 (土) 1限	美濃	バリアフリーのまちづくりと園芸療法の活用
2/1 (土) 2-3限	寺田	●地域における園芸療法の活用 病(やまい)や障がい・高齢であるが故におこる, 二次的な心身および社会的病や障がいに焦点をあて園芸療法士のサポート方法について事例から学ぶ ①病・障がい特性, 生活の場の特性, こころの特性の共有 ②社会モデルからの療法のプロセス ③クライアントの「できる→わかる→したい」を引き出す ④プログラムを行う庭・場の環境効果を活かす ⑤植物との継続・習慣的な関わりを生活に取り入れる ⑥植物を介した社会的な関わりをデザインする ⑦園芸に没頭するが故に起こるこころのリスクへの対応
【予習課題】	豊田	●4/13 (土)には, 購入図書A: 全部, 事前配布資料(花とみどりで人を癒す園芸療法)を既読のこと。 ●5/11 (土)には, 事前配布論文(知的障害者就労支援における農作業分析と難易評価法の開発, 支援が必要な高齢者に園芸作業が与える身体活動負荷)を既読のこと。 ●7/6 (土)には, 購入図書B: 1章 有毒植物の世界, 2章 死亡例・事故例が多い園芸植物を既読のこと。 ●8/3 (土)には, 事前配布論文(園芸療法関連のエビデンス)を既読のこと。 ●9/14 (土)には, C: 2章 植物をもちいる療法の歩みを既読のこと。
【購入図書】	豊田	A 最高の休息法, 久賀谷 亮, ダイヤモンド社, 2016年, 1,500円+税 ※注意! 同価格のCDブックではなく, 読み物になっている方です。

		<p>B 園芸有毒植物図鑑, 土橋 豊, 淡交社, 2015年, 2,300円+税</p> <p>C ひとと植物・環境, 山根 寛編, 青海社, 2009年, 3,360円+税</p>
【参考図書】	豊田	<ul style="list-style-type: none"> ●キラーストレス, NHKスペシャル取材班, NHK出版新書, 842円+税 ●ストレスと心の健康, G ウォーレンシュタイン著, 功刀 浩訳, 2,400円+税 ●植物と行事, 湯浅浩史, 1,200円+税, 朝日選書、1994年
【成績評価の方法】	豊田	<ul style="list-style-type: none"> ●次の内容で評価する。 ① 身体活動量に注目した園芸プログラム作成での課題提出。 ② 「私の入学までの園芸療法観、現在の園芸療法観 ～園芸療法における癒しの効用と研究や仮説をもとに～」というテーマでレポート提出。
【受講生への連絡・希望】	豊田	<ul style="list-style-type: none"> ●マインドフルネスを毎日続け、園芸療法士の生命線である五感を磨いてください。 ●日常にある“自然の輝き”に気づける園芸療法士になろう！